

## 今号の読みどころ

議員団レポート…(茨城県議会、日立市議会、横浜市会、沼津市議会)  
幹事長の主張…国・地方が一丸となり生活が豊かになるよう取組む  
浅野衆議院議員・国政レポート…感謝と希望をもって新たな挑戦！

P2~3

P4

## 浅野さとし衆議院議員・国政レポート

# 感謝と希望をもって 新たな挑戦！

日立グループ連合の皆様、いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。このたび、第50回衆議院議員総選挙において茨城5区から小選挙区で3期目の当選を果たすことができました。これもひとえに、皆様方のご理解とご支援の賜物であり、改めて深く御礼申し上げます。

日立グループ議員団会長  
衆議院議員 浅野 さとし

### 皆様の声を国政に反映させる

3期目では予算委員会、厚生労働委員会、憲法審査会に所属することとなりました。予算委員会では、国の予算審議を通じて教育振興や福祉充実、経済活性化等のための政策を提案し、厚生労働委員会では、皆様の日常に直結する課題である労働環境改善や社会保障制度、医療、福祉政策の改善に取り組んでまいります。憲法審査会では、現行憲法の課題を冷静に議論し、日本の将来を見据えた建設的な対応を進めていきます。引き続き、現場主義を大切にし、皆様の声を国政に反映させるべく全力で取組む所存です。

### 「年取の壁」の引上げに向けて全力を注ぐ

今回の総選挙で、国民民主党の衆議院議員が7名から28名へと大幅に増え、党勢が着実に拡大しました。これは、ご支援いただいた皆様のご尽力によるものであることに加え、国民民主党が掲げた政策が多くの皆様に共感いただけた結果であると受け止めています。現在、総選挙で公約した「年取の壁」の引上げに向けて全力を注いでいます。この課題については、財源に関する懸念から政府や地方自治体からの反発もある中で、与党や政府との間で正々堂々と建設的な議論を進めております。皆様の生活に寄り添う政策の一つひとつを実現していくことで、信頼される政党と

してさらに成長を遂げてまいります。

### より多くの仲間を国政に送り出す

本年実施予定の第27回参議院議員選挙に向けた抱負についても触れさせていただきます。最新の支持率では国民民主党が10%を越え、大きな手応えを感じています。しかし、それに浮かれることなく、地に足のついた活動をさらに充実させ、参議院議員選挙ではより多くの仲間を国政に送り出せるよう努力を重ねてまいります。特に、電機連合の後押しを受けた新人「平戸 航太(ひらど こうた)」が組織内公認候補として確認された際には超短期決戦となるため、私自身も候補者になったつもりで、当選に向けて全力で支援してまいります。皆様の温かいご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくご祈り申し上げます。

最後に、日立グループ連合の組合員・ご家族の皆様のご健康と、組織のさらなる発展を心からお祈り申し上げます。これからも皆様とともに力を合わせて歩んでいきたいと思っております。引き続き、ご支援とご指導をよろしくご祈り申し上げます。

## 幹事長の主張

日立グループ議員団幹事長 八尋 伸二 秦野市議会(日立労組/ヴァンタラ支部)

## 国・地方が一丸となり生活が豊かになるよう取組む

日頃から日立グループ議員団の各種活動に対し、ご支援とご指導をいただいておりますことに感謝申し上げます。

### 選挙前の議席数の4倍を確保

令和6年10月に「第50回衆議院議員総選挙」が執行されました。

私たち議員団の会長を務める浅野さとし衆議院議員が3期目の挑戦を行いました。茨城5区小選挙区で勝利することができました。引き続き、国民民主党と浅野議員の掲げる各種政策に対し、情報交換を密にしながらサポートしていきたいと考えております。

今回の衆議院議員総選挙の結果は、裏金や宗教と政治の問題に対する与党の是

非を問う選挙で、結果は自公与党の過半数割れという結果となりました。一方で、浅野議員が所属する国民民主党は、選挙前の議席数の4倍を確保しました。この結果は、国民の生活を重視した政策「対決より解決」を貫き、特に働く世代へ真摯に向き合い続けたことが大きな支持につながったと分析しています。

### 参議院議員選挙のご協力を

現在、掲げた経済政策「手取りを増やす」について、与党・野党で協議が進

められています。早期の公約実現となるよう期待しています。

本年7月には参議院議員選挙が予定され、電機連合としては、日立グループ連合・日立労組の組合員である「平戸 航太」が組織内候補として擁立を提起されると伺っております。私たち働く世代の声を国政に届けてくれる候補者「平戸航太」へのご支援とご協力をお願い致します。

日立グループ議員団会議として浅野さとし会長を含め24名の議員が今まで以上に連携を図り、国・地方が一丸となり国民の暮らしが豊かになるよう取組んでまいりますので、引き続きよろしくご祈り申し上げます。

## 当選御礼

日立グループ議員団会長

衆議院議員 浅野 さとし

第50回  
衆議院議員総選挙

64,351票で  
小選挙区3期目の当選



日立グループ議員団  
HPリニューアル



日立グループ議員団のホームページがリニューアルされました。各議員の紹介や活動報告が載っています。また、地域での困りごと等を相談する窓口もあるのでぜひ活用ください。



ホームページはこちら

相談窓口はこちら

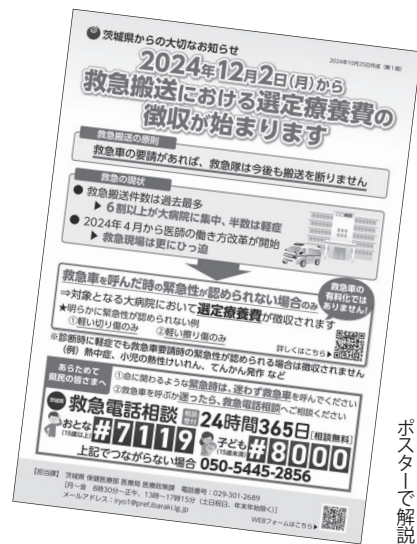
県政だより

救急搬送時の選定療養費の徴収



利用に関するモラルの向上が求められている

茨城県では12月2日より、救急搬送（救急車の利用）時における選定療養費の徴収が始まりました。現状、茨城県では救急搬送件数が年々増加し、その半数近くが軽傷となっており、搬送先が一部の大病院に集中することによって適切な救急医療が提供できなくなる懸念があります。今回の施策は大病院が本来の役割を果たし本県の救急医療体制を維持するため、救急車要請時の緊急性が認められない場合に一部の大病院で選定療養費を徴収するものであり、単なる救急車の有料化ではなく、限られた人員体制の中で適切な救急搬送を維持していくために実施するもので、緊急性のある症状については、引き続き選定療養費を徴収しませんので、緊急の場合は、これまで通りためらわずに救急車を要請して

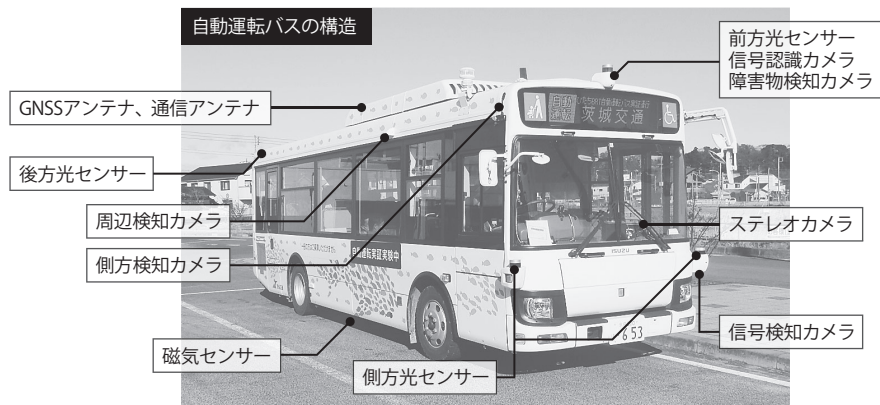


選定療養費の徴収についてポスターで解説

ください。不要不急の救急車要請に関しては近年多くの地域で課題となっており、利用に関するモラルの向上が求められてきております。急なケガや病気で緊急性が判断できない場合は救急電話相談#7119へ連絡しましょう。制度の詳細や対象の病院については、茨城県HP (<https://www.pref.ibaraki.jp/>) を確認してください。

国内初 ひたちBRT 自動運転レベル4の認可取得

市政だより



豊田 茂 日立市議会 (プロテリアル労組/日立支部)

次世代につながる公共交通の進展をめざす

本市は、全国的な課題でもある路線バス運転手不足への対策として、平成30年度から、バス高速輸送システム「ひたちBRT」において、自動運転走行実証の取り組みを行ってきました。そのような中、ひたちBRTで進められてきた中型バスによる自動運転については、昨年11月、国土交通省より運転手を必要としない自動運転「レベル4」の認可を受けました。小型バスの認可は他にもありますが、中型バスの認可は全国初であり、その運行距離は、これまで認可された小型バスなどの車両も含め、全国最長の6.1kmとなります。認可を受けて走行する中型バスは、セ

ンサーなどで自己位置を認識しながら、周囲の車両や歩行者などを検知し、走行するものです。自動運転は、バスの運転手不足等の課題を解決し、持続可能な運行サービスを提供するとともに、次世代につながる公共交通の進展を目的とし、本年度中の営業運行開始をめざしています。民主クラブとしては、自動運転「レベル4」の認可を受けたことを機に、本市における人口減少や高齢化など社会情勢の変化に対応し、地域の実情に応じた移動需要に応えながら、市民が安心して暮らせる地域公共交通の構築に取り組んでいきます。

横浜市会第3回定例会決算特別審査連合審査会

市政だより



質問する坂本議員



回答する山中市長



坂本 勝司 横浜市会 (日立労組/ソフト支部)

山中市長ほか市幹部に対して本市の課題に対して質問

10月2日(水)、横浜市会第3回定例会決算特別審査連合審査会にて、会派を代表して、山中市長ほか市幹部に対して本市の課題に対して質問させていただきました。■横浜の動物園における暑さ対策の取り組みやシンガポールのナイトサファリの様な夜行性動物の行動展示で年間を通じてより多くの方々が動物を楽しめる環境整備の検討、広い園内や起伏のある園内移動・見学手段の工夫について、気候対策や全世代が徒歩以外で見学できる仕組みを、国内外の動物園を参考に検討を進めるべきなど、市内動物園の更なる魅力創出の検討を意見し質疑しました。■上瀬谷の米軍基地返還により、今後の利用計画が示されており、桜の名所としても有名な海軍道路については老木や倒木対策

として桜が激減している。桜再生計画は示されているものの、市民の理解が不足している。伐採理由など切り株に看板を設置するなど、なぜ桜が伐採されるのか。市民の方々へ広く周知すべきだと意見しました。■高速鉄道3号線延伸事業(あざみ野駅~新百合ヶ丘駅)の交通局の取組状況について、2030年開通目標に対して事業を進めるのか。計画の見直しの必要性や本気度を確認しました。周辺の街づくりによる地域活性化について質疑しました。■市長公舎を所有しているのは横浜市と広島市のみです。本市における公舎の必要性や市長公舎の迎賓利用状況について確認しました。また、有事の際の市対策本部としての役割の必要性について指摘しました。

市政だより

政治の日常化につながる、議員有志と市民との意見交換会



深田 昇 沼津市議会 (明電舎労組/沼津支部)



参加者と仲良く記念写真

政治や議会や議員が身近であることは大切

「議員、よく知らない」の声を受けて議員有志が市民と交流する場を設けました。全体での開催は反対議員がいたため断念しました。昨年8月に実施した会には、主婦・会社員・高校生・一般社団法人メンバーなどが参加しました。その場で受けた「学校に来て欲しい」との声を受けて、12月には、学校を訪問して高校生たちと話し合いを実施しました。交流会では、生活上の困りごとやまちの課題について話し合うほか、議会や議員に対する感想をもらいました。「スーツを着たお堅いイメージ」「予定調和の審議」「ムスッとしている」「身近

ではない」など、率直な内容でした。政治や議会、議員が身近であることは大切だと思っています。望む・望まないに関係なく、政治が扱う課題はすべての人の生活に密接に関わるからです。個々に感じる課題や未来への希望に関する声が、皆のお金(税金)の使い道やルール(法律や条例)を変える可能性があります。衆議院議員総選挙後に話題になった「103万円の壁」もその一つです。より良い今と未来をつくるために、皆で進んでいけることを願っています。